



トムトム通信



発行元:特定非営利活動法人パーソナルサービスセンタートムトム

生活介護事業(国事業)に乗せて安定運営を目指します!!

10年前に立ちあがったトムトムは法制度が不十分の中から歩んできました。措置制度→支援費制度→自立支援法の制度と、目まぐるしく変化する制度の中で奮闘し、地域の子どもたち、青年たちのために支援をしてきた歴史があります。

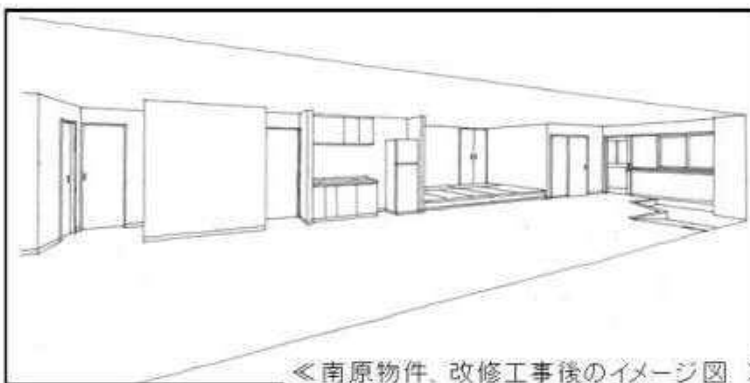
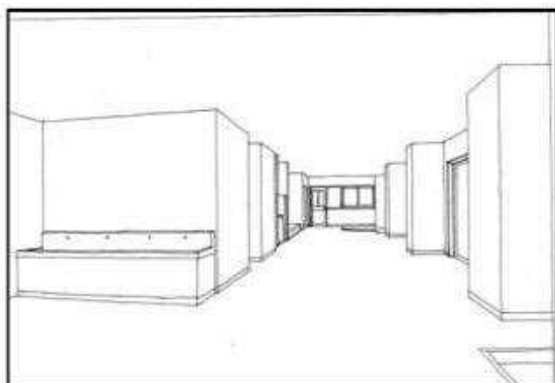
とりわけ、子どもたちの放課後・余暇活動支援については、国が若干、制度を整えた実績はありますが未整備に近く、子どもたち、保護者の方の思いをくんで皆様の生活を整えるにはほど遠いものでした。それを見かねた市町村が事業を考えてくれましたが、示した内容には格差があり、市町村の台所事情により吹っ飛んでしまいそうな不安要素がある現状です。つまり、トムトムが行う支援の中心は市町村事業で運営的に安定したものではありませんでした。

先にご利用の皆様にお声をかけ1月に開催した座談会では、平塚市南原の新拠点での生活介護事業開始のお話をしました。高等部を卒業するご利用者も増えてきて、トムトムは、子どもたちを中心の支援事業所→子どもたち、成人の事業所として転換する時期にきています。平塚市南原に新拠点を立ち上げることは、比較的安定している国事業を行い安定運営を目指すことであり、しいては、寒川・茅ヶ崎地域での成人事業、そして住まい(グループホーム等)の事業に進むための、基盤を作るためであります。南原新拠点では大規模な改修が必要で、皆様に債券のご購入やご寄付のお願いをいたしました。快適に作業するため、多種にわたるトイレの増設や畳スペース、転倒事故防止のためのクッション材の床など入れていきます。皆様からの債券ご購入やご寄付のお陰で2月より工事着工し、順調に進んでいます。

厳しい社会情勢の中で、トムトムはどうして新しい事業に着手していくのか?日本、大きく言えば世界全体が変革期だからこそ、世の中の流れや変化するライフスタイルに合わせたものを作り、未来につながる子どもたちの財産を「いま」創っていく必要があると使命を感じています。これからも皆様とお話を続け、最良なものを、具体的なカタチにしていきたいと強く思っています。(文責:平塚支部 露口信行)

目次

| | |
|-----------------|---|
| 生活介護事業目指します | 1 |
| トムトム・ゴロゴロクラブ | 2 |
| あいあいクラブ・ゆうゆうクラブ | 3 |
| 卒業おめでとうございます! | 4 |
| 卒業おめでとうございます! | 5 |
| ぶんぶん・えぼっくハウス | 6 |
| NEVER GIVE UP! | 7 |
| お知らせ | 8 |



＜南原物件、改修工事後のイメージ図＞

トムトム

トムトムでは居宅介護・移動支援事業に加え、10月より茅ヶ崎市より受託され育児支援家庭訪問事業がスタートしました。対象は就学前のお子様で、家庭内での支援や近所の公園、施設を利用しながらの支援を行ない、保護者の育児不安や負担の軽減に繋がっていくことを目的としています。利用者さんのニーズに応えていくにはヘルパーの協力・地域の関わりなどがとても大切です。利用者さんと出掛けると顔なじみになって声を掛けて下さる方もいて『こんにちは!!』など挨拶することもあり、少しずつ一歩一歩積み重ねて、地域社会での関わりを輪を広げていけたらと感じます。

移動支援事業では、主に放課後支援が多く、マ外・カト・ヤミカト・カトなどでおやつを食べたり、バスや電車を利用してお出掛けしたりします。土・日・祝日などご利用時間が長い時には市内だけでなく郡内や横浜方面にもお出掛けします。

山口佳美



<アンパンマンミュージアム>



<バスと電車の博物館>



<横浜ランドマーク>

ゴロゴロクラブ



今年度は、新型インフルエンザの影響で体調の変化や管理面など、心配をされた方が多かったのではないのでしょうか。いったん落ち着いたように感じられた後、年明けて学校がスタートしたかと思ったら再びインフルエンザの影響が出てビックリ!! しましたね・・・。

お子様の体調や、ゴロゴロクラブでどんな風に過ごしたのかなど、帰りのお迎え時にお伝えし、また連絡ノートを活用して、日々のお子様の様子を把握しながら成長をともに感じていけたらと思います。

ゴロゴロではクリスマス会を12/19・24に行いました。



♪子どもたちや職員と一緒にケーキ作り(☆ー☆)
1つはショートケーキ。もう1つ顔のケーキは(・_・?)??
ヒント:ゴロゴロやトムトムを支えてくれている一番えらい人だよ!!親子で考えてみてね!
♪食べ終わった後はパネルシアターを観て過ごしました。

山口佳美

あいあいクラブ1年を振り返って



<おとうさん・おかあさんへのおくりもの>
おとうさん・おかあさん
よろこんでくれたかな?



<かえりの会>
「みんな、かみしばいだ」
あつまれ!あつまれ!



4月からも
みんな遊び
に来てね!

<おやつ>
みんな楽しみ!
「きょうのおやつはなにかな?」



東真巳

ゆうゆうクラブ

人見知りの強かった子ども時代ですが、それでも新学期が好きでした。まだちょっと冷たい風が教室に流れるとき、子どもながらに心地よい緊張感を感じたものです。残念なことに、私にはもう二度と新学期は訪れませんが。

ゆうゆうクラブの仲間たちもそれぞれ、新学期を迎えようとしています。いつのまにか身体も大きくなり、私の身長を抜かしてしまっただけでも少なくありません。違う学校の仲間に出会い、仲良くなったり、けんかしたり、それぞれ心も成長し、ゆうゆうでの過ごし方を自分なりに見つけてくれたようです。

「手袋をさがす」という向田邦子のエッセイがあります。自分

の気に入った手袋が見つかるまで、ひと冬を手袋なしで過ごした若い頃の著者自身の生き方を振り返り、今現在も自分に不満はあるが「手袋をさがしている」ということそのものが財産だというものです。

一年を振り返り、ふとこの好きなエッセイを思い出しました。ゆうゆうクラブの仲間たちはここで、手袋をさがしているのかな?私自身の手袋は?

家庭、学校とも違うこの空間のなかで、お子さん達が色々なことを感じ、また提供できていければ幸いです。

難波美行



ぶんぶん1年間の振り返り

いつもぶんぶんをご利用・応援して頂きありがとうございます。

思えば、昨年2月に茅ヶ崎支部より異動してきて、もう1年が過ぎたことも実感できずに、今も日々の業務をこなしています。

障がい福祉への知識や経験もままならぬ状況で、コーディネーター業務に携わってきましたが、こうやって振り返る時間をもらえると、この1年間これでよかったのかな?…と思いとどまってしまう…。僕なりに利用者さんのことを思いつつ支援してきたつもりですが、その答えはよく分かっていないのが正直なところでもあります。

そんな中で、先月、とある利用者さんのガイドヘルプに入った時の話になります。その利用者さんは、いつもは自分の世界にこもりがちなお子さんで、この日もご自分のペースで過ごされていました。ところが、自宅までの帰路に向かっている最中、どうしたものか突然、僕の頭をなでてきたことがありました…。普段の様子からでは考えられないことだったので、この自発的なコミュニケーションには正直びっくりしたのを覚えています…。



そして、この時感じたことは、僕自身は利用者さんのことをただ思うだけの、一方的な関わりをしていたのかなと、ふと思ってしまいました。形はどうであれ、こうやってお互いに繋がりを作っていくことが大事だったりするのかな…なんて今はそんな風に思っています。もちろんこれが正解かどうか分かりません。これからは、利用者さんはもちろんのこと、親御さんや職員、地域の方々とも、少しずつでも繋がりを持っていけたらいいなと思っています。その思いを胸に頑張っていきますので、今年もどうぞよろしくお願い致します。



岩崎秀俊



えぼくハウス

4月からえぼくハウスの活動が始まり、あ、という間に時は過ぎ、早いことにもう一年が経とうとしています。この1年間は、紙の植木鉢作りに取り組んできました。初めは、みんな作業になかなか集中できなかりましたが、今では植木鉢作りをきちんとこなし、毎日作業に励んでいます。そんな一回り成長した姿を見て、とても嬉しく思います。作業の他にも、いろいろな所へでかけたり、七夕、クリスマス会、成人式、節分など、いろいろなイベントも行ってきました。一年を振り返って、この一年間、みんなで仲良く、楽しく活動できてよかったと思います。

また4月から、えぼくハウスに新たな仲間が加わり賑やかにするのが楽しみです。

鈴木理沙

えぼくハウス
たいだ

えぼくハウス
たのいさ



ぶんぶん1年間の振り返り

いつもぶんぶんをご利用・応援して頂きありがとうございます。思えば、昨年の2月に茅ヶ崎支部より異動してきて、もう1年が過ぎたことも実感できずに、今も日々の業務をこなしています。障がい福祉への知識や経験もままならぬ状況で、コーディネーター業務に携わってきましたが、こうやって振り返る時間をもらえると、この1年間これでよかったのかな?…と思いとどまってしまう…。僕なりに利用者さんのことを思いつつ支援してきたつもりですが、その答えはよく分かっていないのが正直なところでもあります。



そんな中で、先月、とある利用者さんのガイドヘルプに入った時の話になります。その利用者さんは、いつも自分の世界を大切にしているお子さんと、この日もご自分のペースで過ごされていました。ところが、自宅までの帰路に向かってる最中、どうしたものか突然、僕の頭をなでてきたことがありました…。普段の様子からでは考えられないことだったので、この自発的なコミュニケーションには正直びっくりしたのを覚えています…。



そして、この時感じたことは、僕自身は利用者さんのことをただ思うだけの、一方的な関わりをしていたのかなと、ふと思ってしまう。形はどうであれ、こうやってお互いに繋がりを作っていくことが大事だったりするのかな…なんて今はそんな風に思っています。もちろんこれが正解かどうか分かりません。これからは、利用者さんはもちろんのこと、親御さんや職員、地域の方々とも、少しずつでも繋がりを持っていけたらいいなと思っています。その思いを胸に頑張っていきますので、今年もどうぞよろしくお願ひします。

岩崎秀俊

NEVER NEVER NEVER GIVE UP! NEVER NEVER NEVER GIVE UP! NEVER NEVER NEVER GIVE UP!

NEVER GIVE UP!

NEVER NEVER NEVER GIVE UP! NEVER NEVER NEVER GIVE UP! NEVER NEVER NEVER GIVE UP!

2月5日から3日間、滋賀県の大津市で行われたアメニティーネットワーク・フォーラムへ、3年ぶりに研修に行ってきました。というのも、2009年度は政権交代し、日本全体が揺らいでいる中で、障害者自立支援法も揺さぶり続けられている昨今。福祉に携わる千人以上の人々が全国からこの日に集結しました。障がい福祉に携わる福祉団体の代表者、法律家、医師、大学教授、県知事、政治家などのさまざまな立場から多角的な視点でセッションが行われました。分野は、発達障がいコース、障がい者福祉コース、相談支援コースと分かれており、朝は8時から夜中まで続き、次々と課題ごとに議論していました。



かつて私はトムトム通信で報告を書いたことがありました。あの年は支援費制度が施行されたものの、どんどん単価は切り下げられた年で「施設に住む障がい者を地域に帰そう」という台詞は一見、とても綺麗に聞こえ、「知的障がい者施設解体宣言」で騒がれた年でもありました。しかし、自民党が打ち出した施策は「働かざる者食うべからず。」障害者自立支援法で最初に打ち出された内容は、それはもうひどい部分が多々ありました。

あれからたった3年の間にも、障がい福祉制度の中で私たちはどれだけぶん回されてきたことでしょうか。今も渦中にいる障がい者の方達が一番、被害を被っていて、それを守り、人として当たり前の人権を求め「諦めない人たちがこのフォーラムに今回も集まっていました。



研修の中で、最も印象に残っているのは、3日目の「福祉社会の未来、優しい社会を創(つく)るために必要なこと」というテーマでした。内容は、財務省やマスメディアが「政府の借金」について「国の借金」と言っている。マスメディアが政府の借金について「国民一人当たり約663万円の借金」と言われている。借金といっても国内の借金だからあまり心配することはないが、景気回復をしなればたつた20年後には日本全体が氷河期ともいえる超スペシャル高齢社会となり、孤独死が増える。少子高齢化社会で障害ある人たちが普通に暮らせるには、国民負担率を上げるしかない。国際的に見ても、

1位はスウェーデンで、日本といえばワースト2位とのこと。だから、消費税や社会保険率のUPは免れない。

もっともなご意見。日本の未来は暗い話ばかり。国民はマイナス思考の暗示にかけられているよう。これから大人になる子どもたちに何を残してあげられるのか。これから生まれる子どもたちの将来はいったいどうなるのだろう。

日本の現代社会を知り得た中でトムトムに立ち返り思う。利用者との総勢300人を超える中の私はひとりであり、私の力量で担う総務部長としての守るべき役割。この短期間に事務量が膨大となり、能力を超える悲痛の叫びは現在進行形。力の源は守るべき障がいある息子のため。加えて負けず嫌い何事もポジティブなこの性格。道は必ず開けると、根拠なく信じています。

人生どんなに苦境ないばらの道であったとしても、進んでいかなば、良い方向にも進めないし。立ち止まらず。後ろばかり振り返らず。進むのみ。NEVER GIVE UP!
加藤の結論でした。

加藤 里恵

お知らせ



車募金のお願い

2010年2月に、茅ヶ崎支部あいあいクラブの送迎車両(ステップワゴン)が事故によって全損となり廃車になってしまいました。(怪我人は運転手と添乗員が軽傷でした)

送迎車が1台足りないままでは運営に支障をきたす事態となってしまうので、中古車を緊急に購入しました。しかしこのことで予算外の出費となり、今後の茅ヶ崎支部として事業運営の痛手となってしまいました。

今後、このような事故が起きないように、従業員の交通安全教育をより強化してまいります。不況の折り、心苦しいのですが、募金箱を各事業所に設置しました。皆様からの募金を是非！お願い致します。

(文責:茅ヶ崎支部 本間)



ご支援ありがとうございます！

2009年4月～2010年3月現在

賛助会員・寄附金・寄付品

◆個人◆ 56名の方より賛助会員費、寄附金、寄付金をいただきました。

【合計金額 ￥1,558,000 でした。】

車イス、スロープ、じゅうたん、電子レンジ、おもちゃ、事務机等、頂きました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

賛助会員を募集中です！

【個人・団体共に】年間1口:3,000円(何口でも結構です)

【郵便口座番号】00290-3-47042

【口座名義】特定非営利活動法人パーソナルサービスセンタートムトム



ホームページもご覧ください。
<http://www.npo-tomtomo.com/>

特定非営利活動法人
パーソナルサービスセンタートムトム

神奈川県茅ヶ崎市萩園1602

電話 0467-84-0806

FAX 0463-37-2013

Email: houjin@npo-tomtomo.com